

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年 6月 28日

京都府知事 殿



## 提出者

住所 〒611-8585

京都府宇治市木幡西中25番地

パナソニック インダストリー株式会社

デバイスソリューション事業部ニアビ

事業部長 西浦 泰郎

電話番号 0774-31-7347

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	パナソニック インダストリー株式会社 デバイスソリューション事業部 宇治拠点
事業場の所在地	宇治市木幡西中25番地
事業の種類	電気機械器具製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 産業廃棄物処理計画における目標値

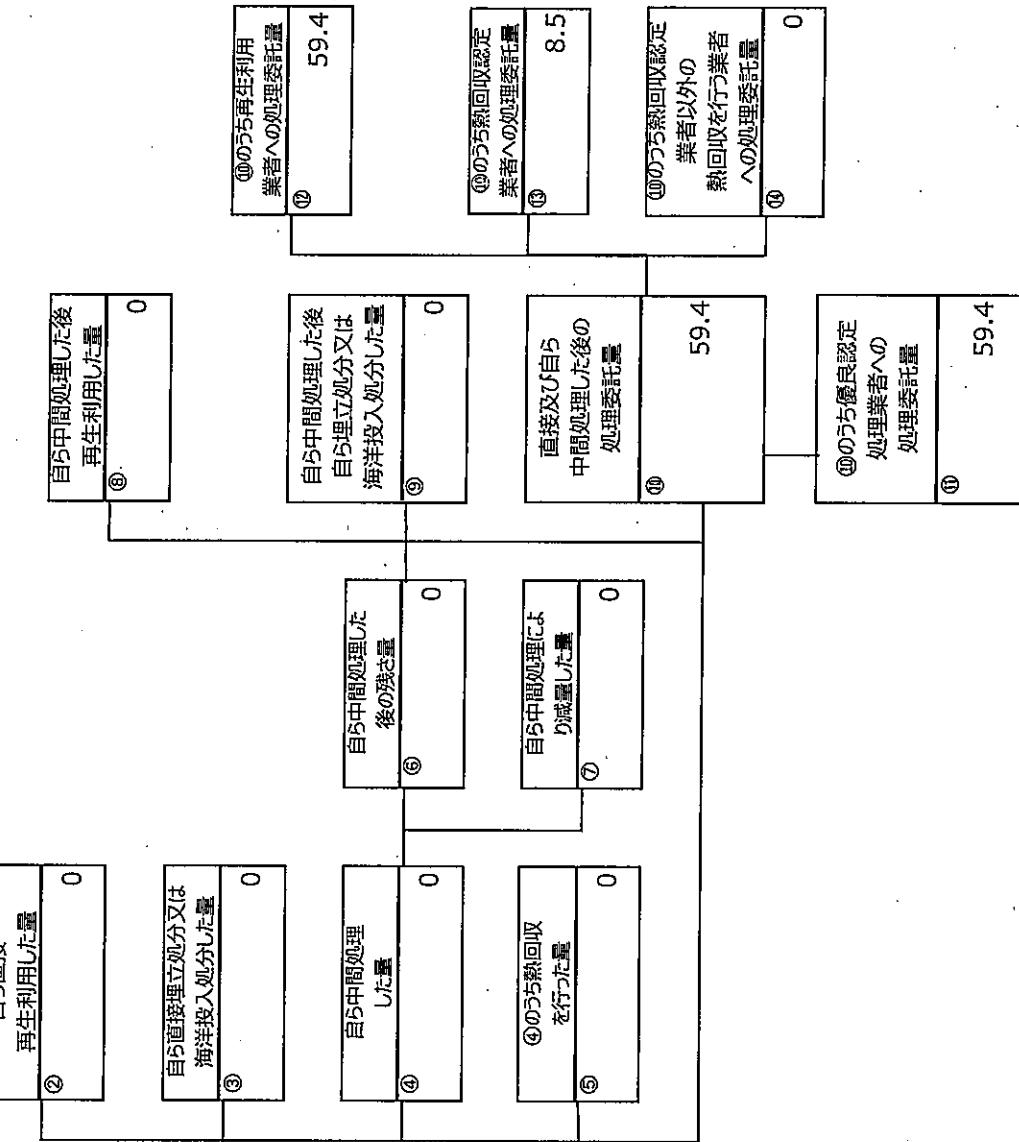
項目	目標値	項目	目標値
排出量	30,957.9 t	全処理委託量	9,657.9 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	9,657.7 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	9,657.0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	21,300.0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	345.5 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	4,153.6 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

## 計画の実況状況

(産業廃棄物の種類： 廃油 )

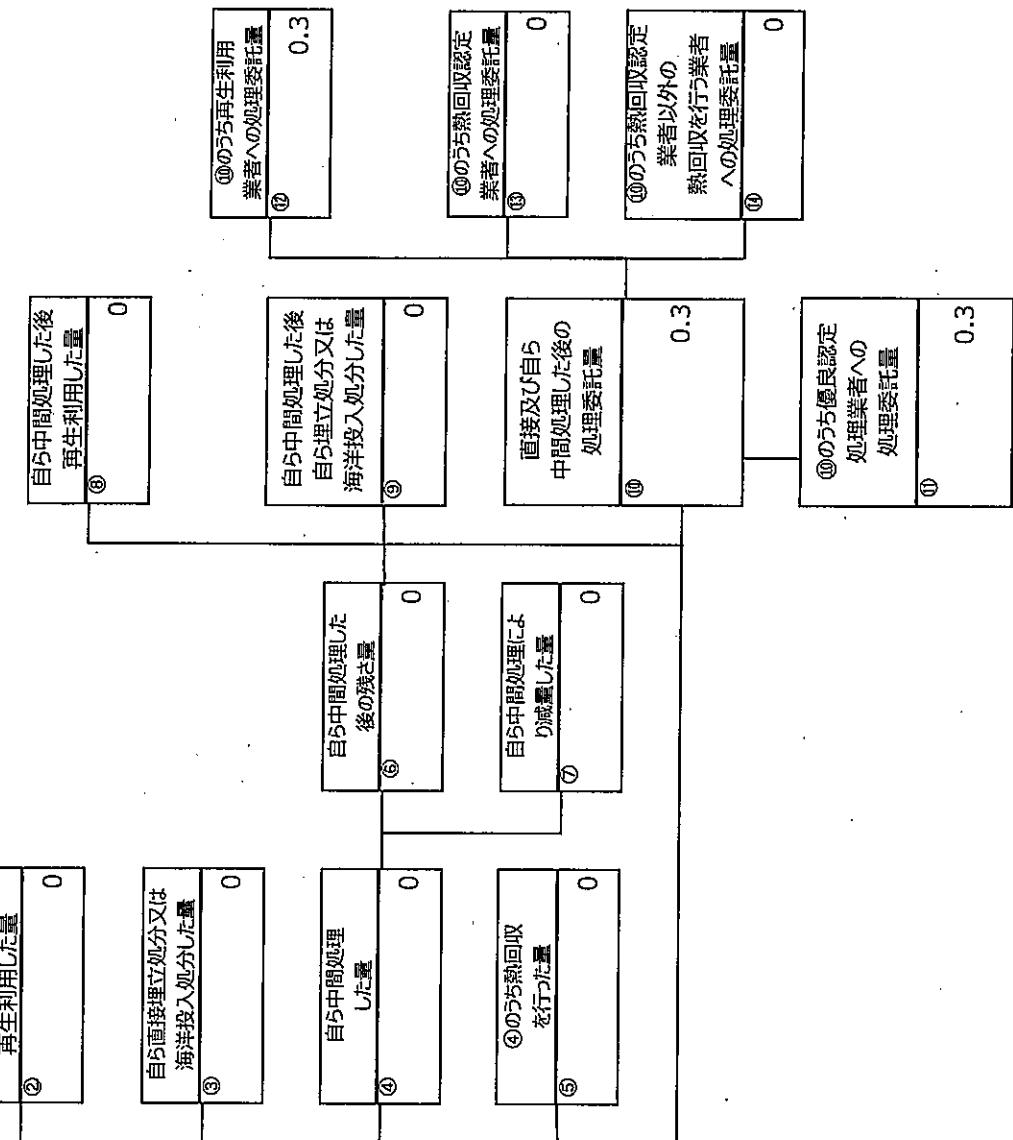
有償物量	
排出量	
項目	実績値
①排出量	59.4
②+③自ら再生利用を行つた量	0
⑤自ら熱回収を行つた量	0
⑦自ら中間処理により削減した量	0
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行つた量	0
⑪全処理委託量	59.4
⑫優良認定業者への処理委託量	59.4
⑬再生利用業者への処理委託量	59.4
⑭熱回収認定業者への処理委託量	9
⑮熱回収認定業者以外の熱回収を行つた業者への処理委託量	0

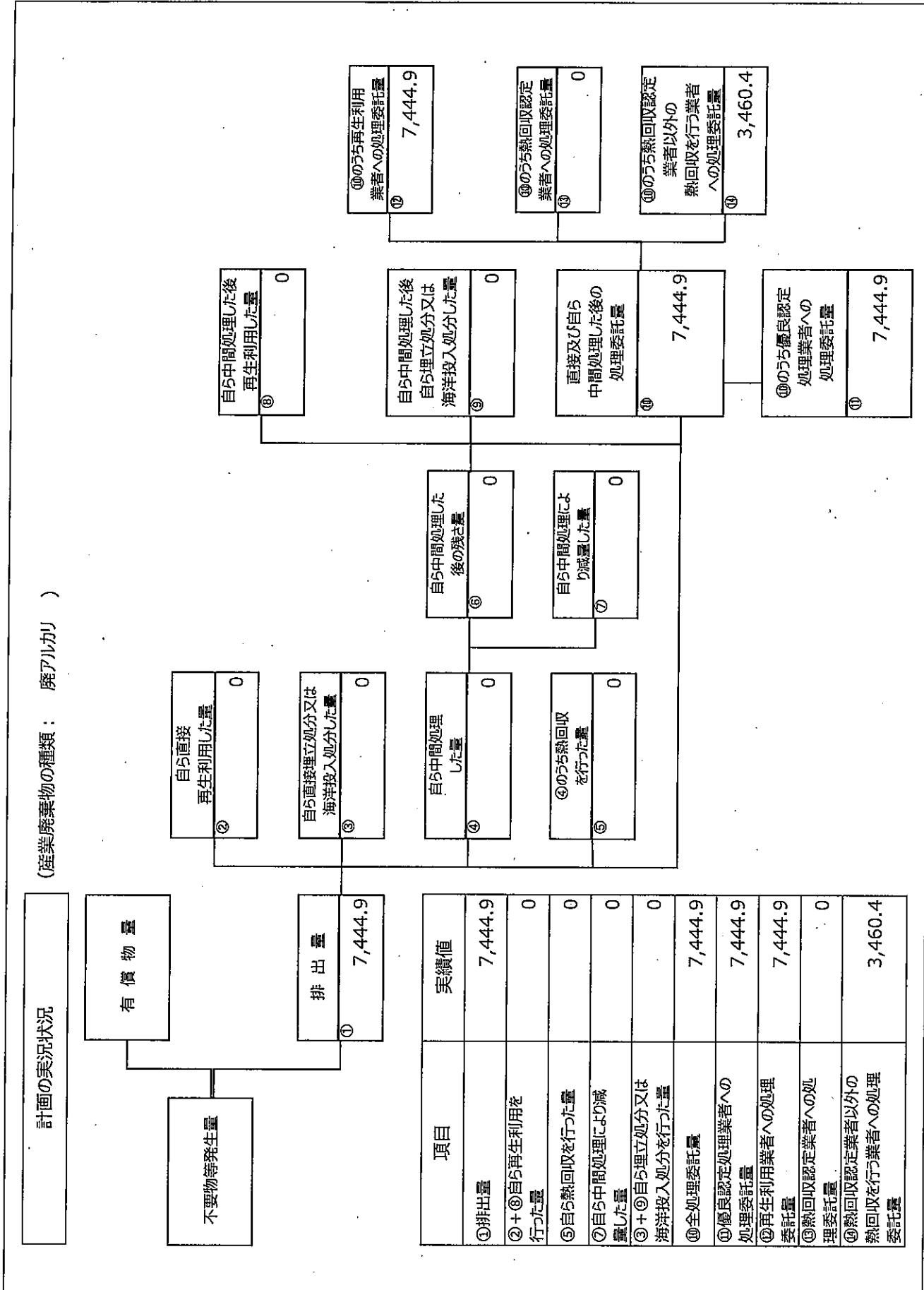


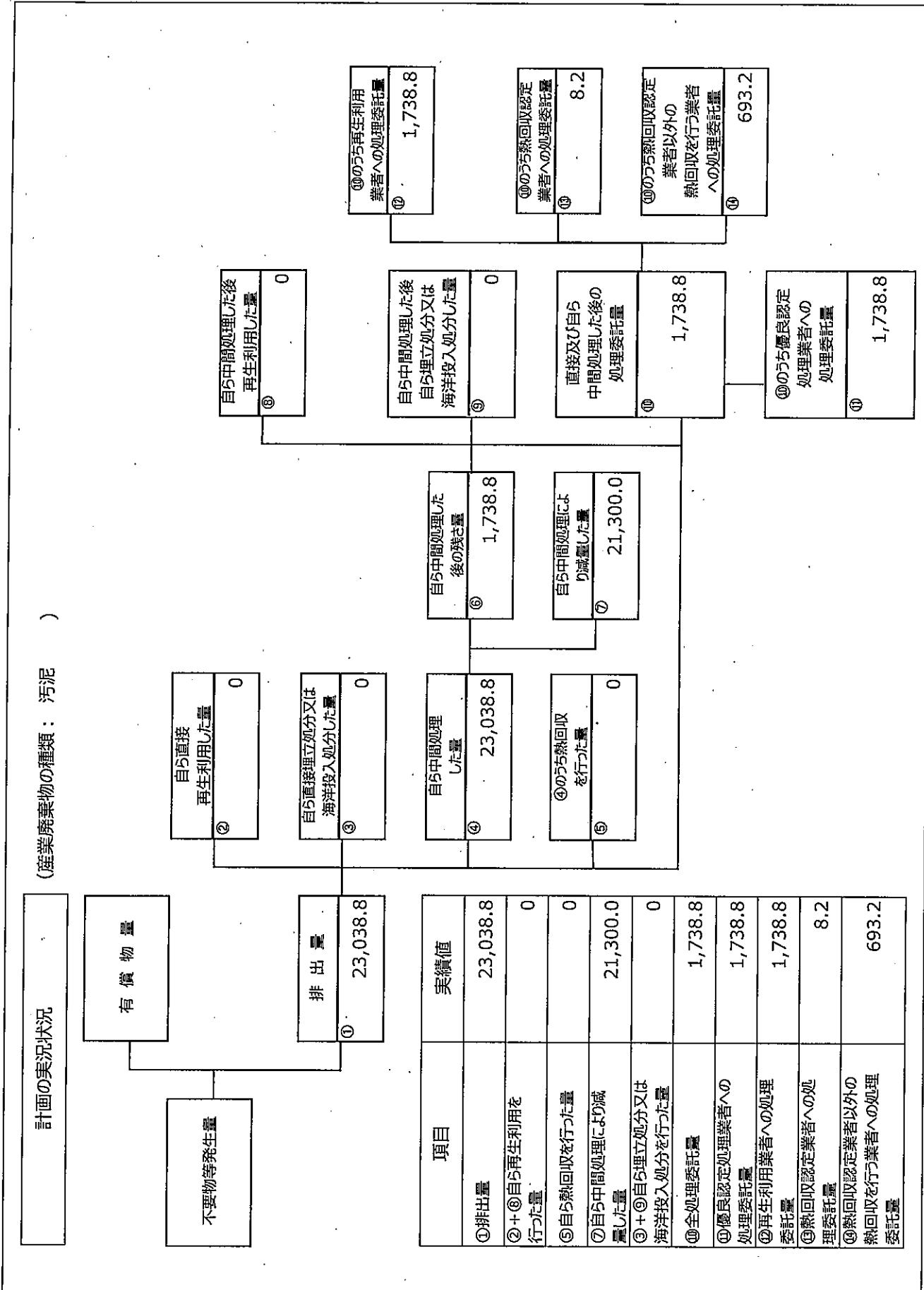
計画の実況状況

## (産業廃棄物の種類： 硫酸 )

有 債 物 量	
不要物等発生量	
① 排出量	0.3
② + ③ 自ら再生利用を行った量	0
④ 自ら熱回収を行った量	0
⑤ 自ら中間処理により減量した量	0
⑥ + ⑦ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑧ 全処理委託量	0.3
⑨ 優良認定業者への処理委託量	0.3
⑩ 再生利用業者への処理委託量	0.3
⑪ 热回収認定業者への処理委託量	0
⑫ 热回収認定業者以外の処理委託量	0



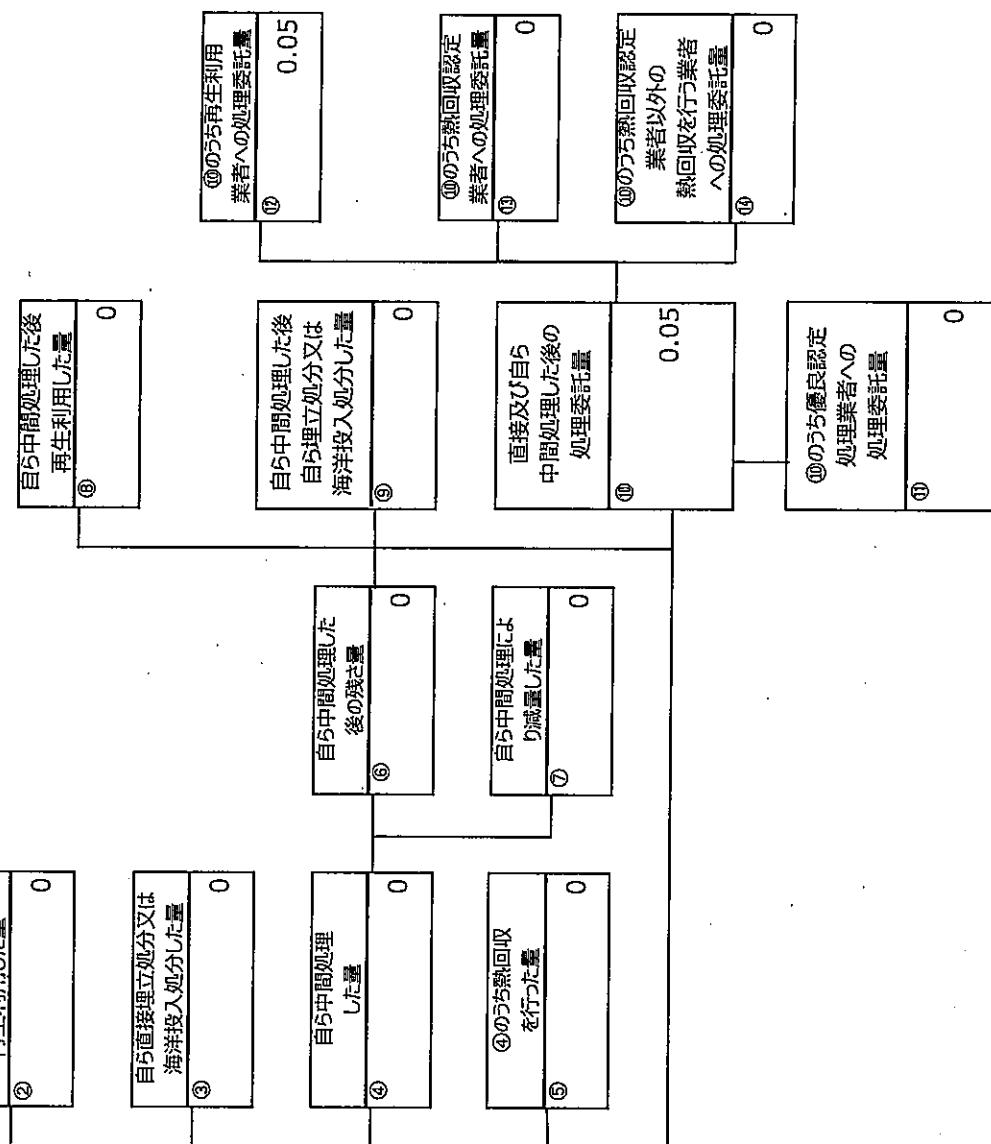




計画の実況状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず、金属くず、磨プラスチック類(蛍光灯))

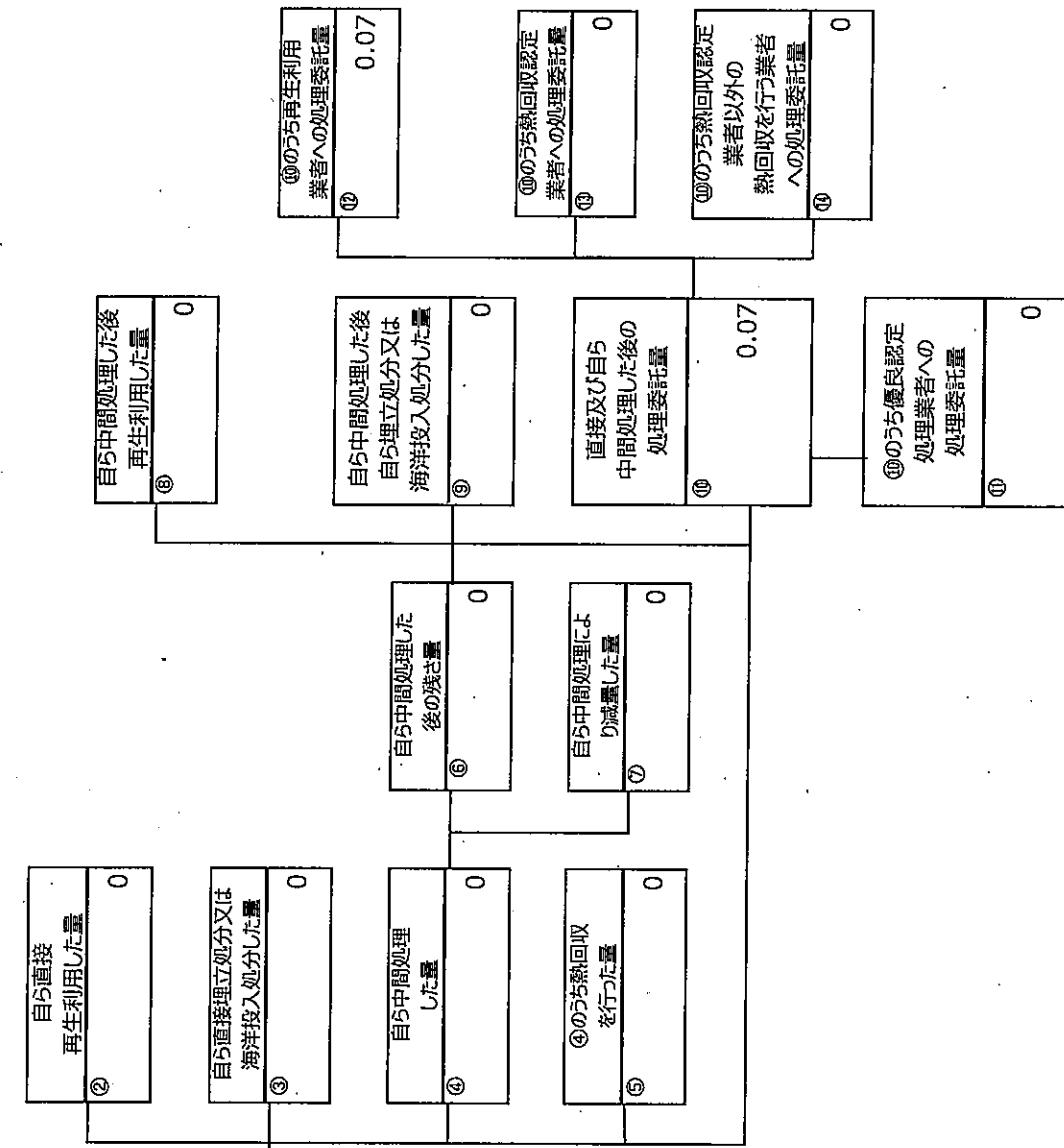
項目	実績値	自ら直接 再生利用した量	
		②	③
①排出量	0.05	0	0
④自ら中間処理 した量	0	0	0
⑤④のうち熱回収 を行った量	0	0	0
⑥自ら熱回収を行った量	0	0	0
⑦自ら中間処理により減 量した量	0	0	0
⑧⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0	0	0
⑩全処理委託量	0.05	0	0
⑪優良認定事業者への 処理委託量	0	0	0
⑫再生利用業者への処理 委託量	0.05	0	0
⑬熱回収認定事業者への処 理委託量	0	0	0
⑭熱回収認定事業者以外の 熱回収を行う業者への処理 委託量	0	0	0



計画の実況状況

(産業廃棄物の種類：汚泥、金属くず(電池))

不要物等発生量		排出量		自ら直接処分した量 海洋投入処分した量		自ら中間処理した量	
①	0.07	①	0.07	②	0	④	0
② + ③自ら再生利用を行った量	0.0	② + ③自ら再生利用を行った量	0.07	⑤自ら熱回収を行った量	0.0	④のうち熱回収を行った量	0
⑤自ら中間処理により減量した量	0.0	⑥自ら中間処理により減量した量	0.0	⑥自ら中間処理により減量した量	0.0	⑤のうち熱回収を行った量	0
③ + ⑥自ら直接処分または海洋投入処分を行った量	0.0	⑦全処理委託量	0.07	⑦全処理委託量	0.07	⑧熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0	⑨熱回収認定業者以外への処理委託量	0.0	⑩熱回収を行ふ業者への処理委託量	0.0	⑪熱回収を行ふ業者への処理委託量	0.0

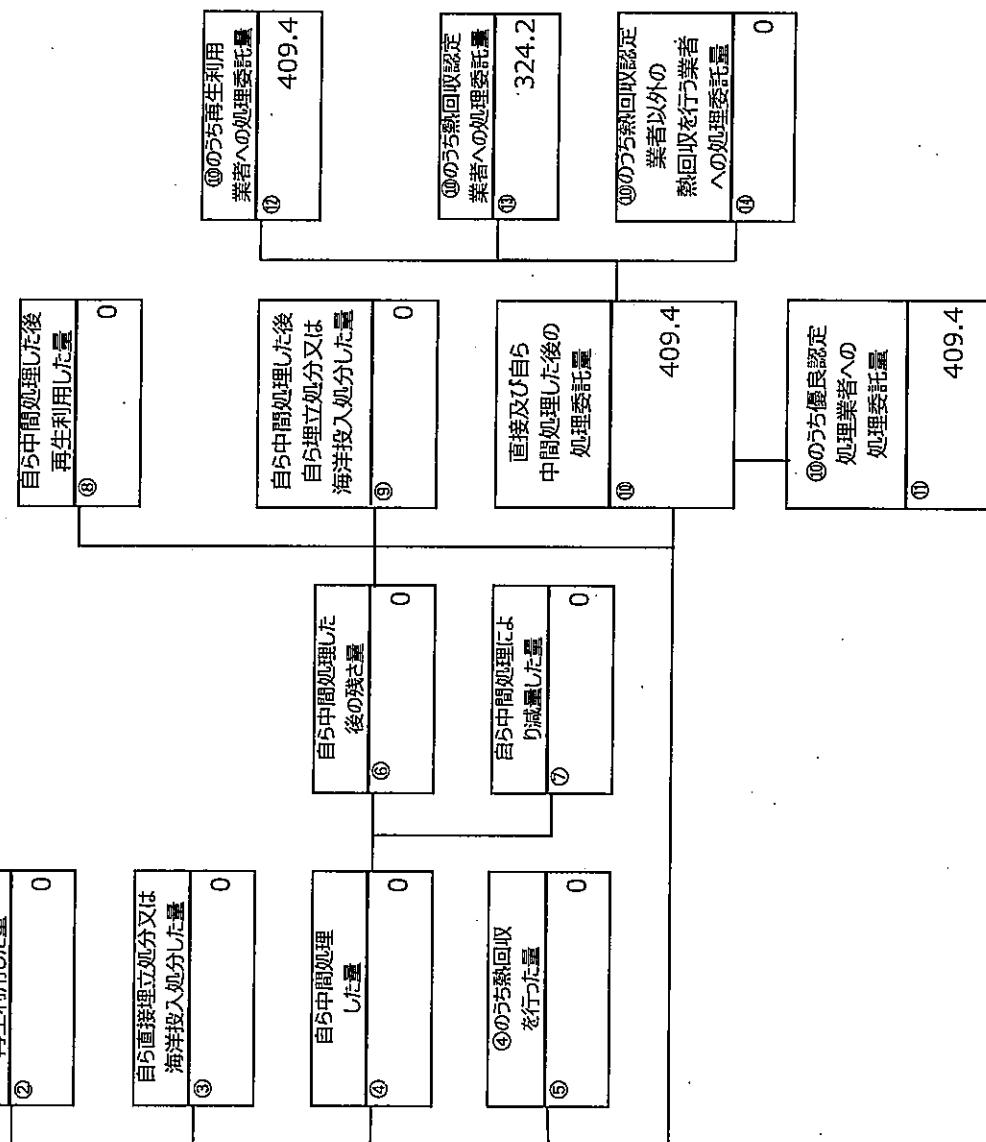


計画の実況状況

## (産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

不要物等再生利用実績		排出量		自ら直接再生利用した量		自ら直接廃棄処分又は海洋投入処分した量	
項目	実績値	①	409.4	②	0	③	0
①排出量	409.4	④	0	④	0	⑤	0
②+⑥自ら再生利用を行った量	0	⑥	0	⑥	0	⑦	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	⑧	0	⑧	0	⑨	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	⑩	0	⑩	0	⑪	0
③+⑨自ら理立処分又は海洋投げ処分を行った量	0	⑫	0	⑫	0	⑬	0
⑮全処理委託量	409.4	⑭	409.4	⑭	409.4	⑯	324.2
⑯優良認定処理業者への処理委託量	409.4	⑯	409.4	⑯	409.4	⑰	0
⑰再生利用業者への処理委託量	324.2	⑰	324.2	⑰	324.2	⑱	0
⑱熱回収認定業者への処理委託量	0	⑱	0	⑱	0	⑲	0
⑲熱回収を行ふ業者への処理委託量	0	⑲	0	⑲	0	⑳	0

1



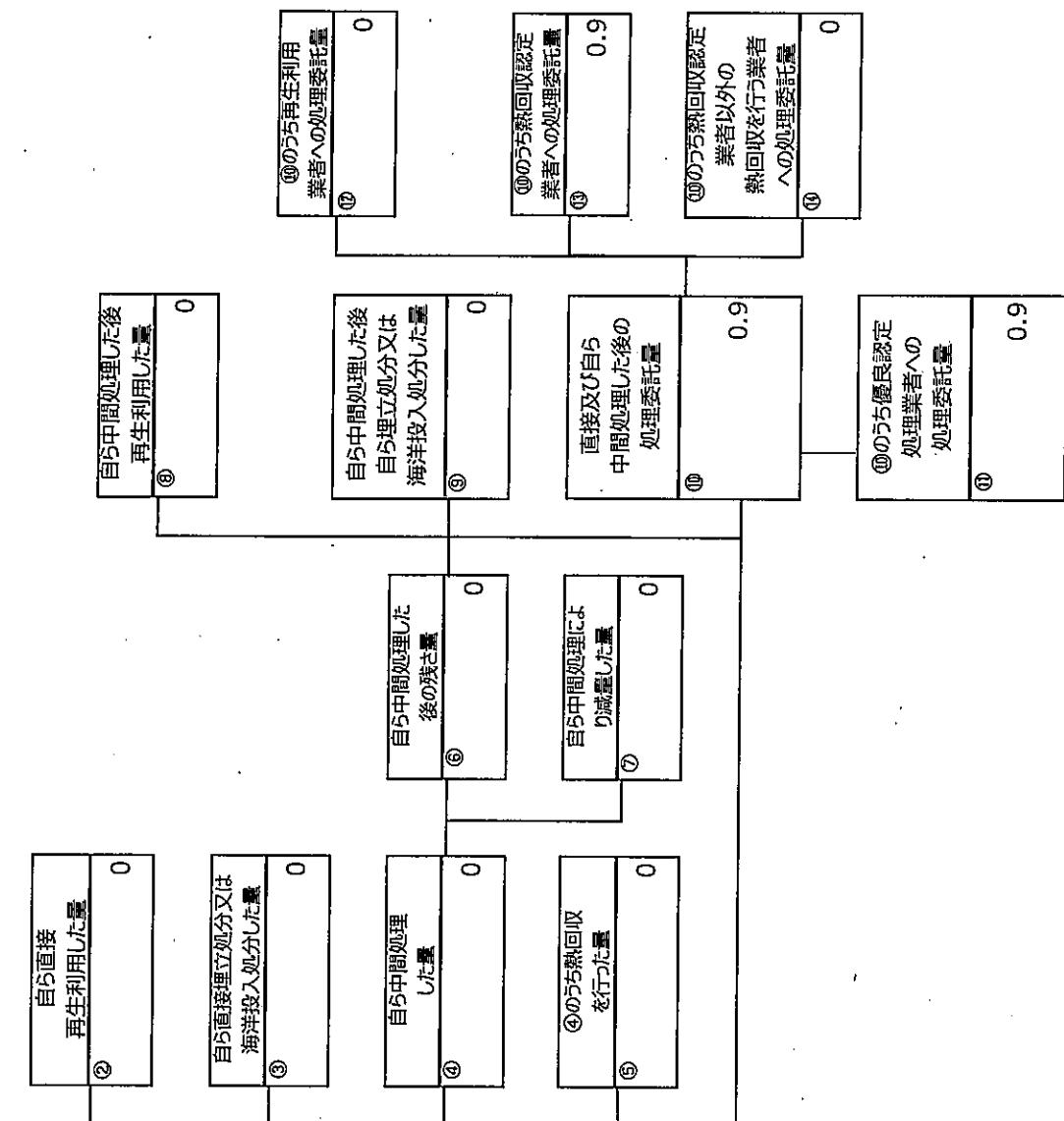
## 計画の実況状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類と汚泥の混合物 )

有 債 物 量	
不 要 物 等 発 生 量	
排 出 量	
①	0.9

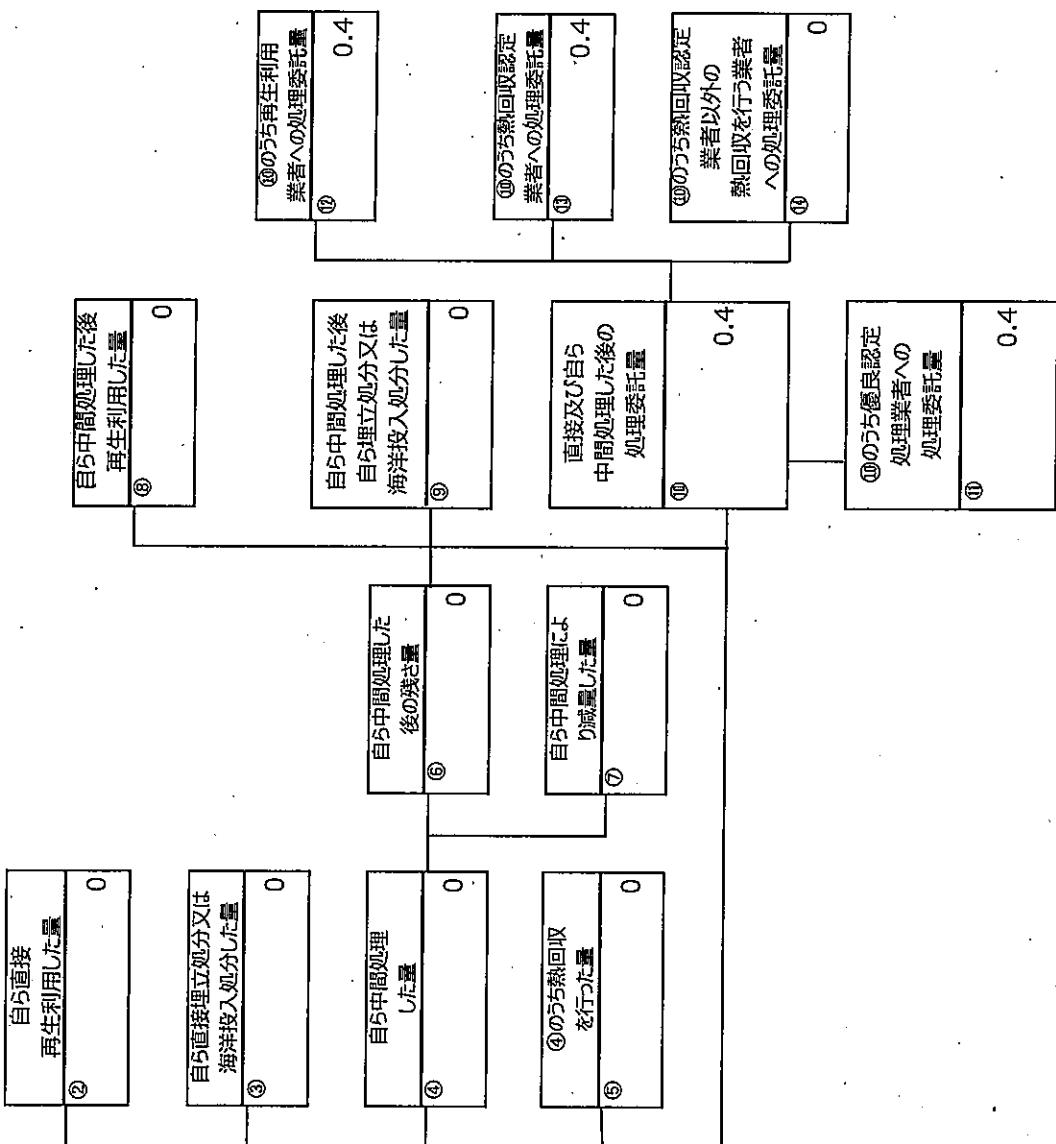
項目	実績値
①排出量	0.9
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑪全処理委託量	0.9
⑫優良認定業者への処理委託量	0.9
⑬再生利用業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者への処理委託量	0.9
⑮熱回収認定業者以外の熱回収を行つ業者への処理委託量	0



計画の実況状況

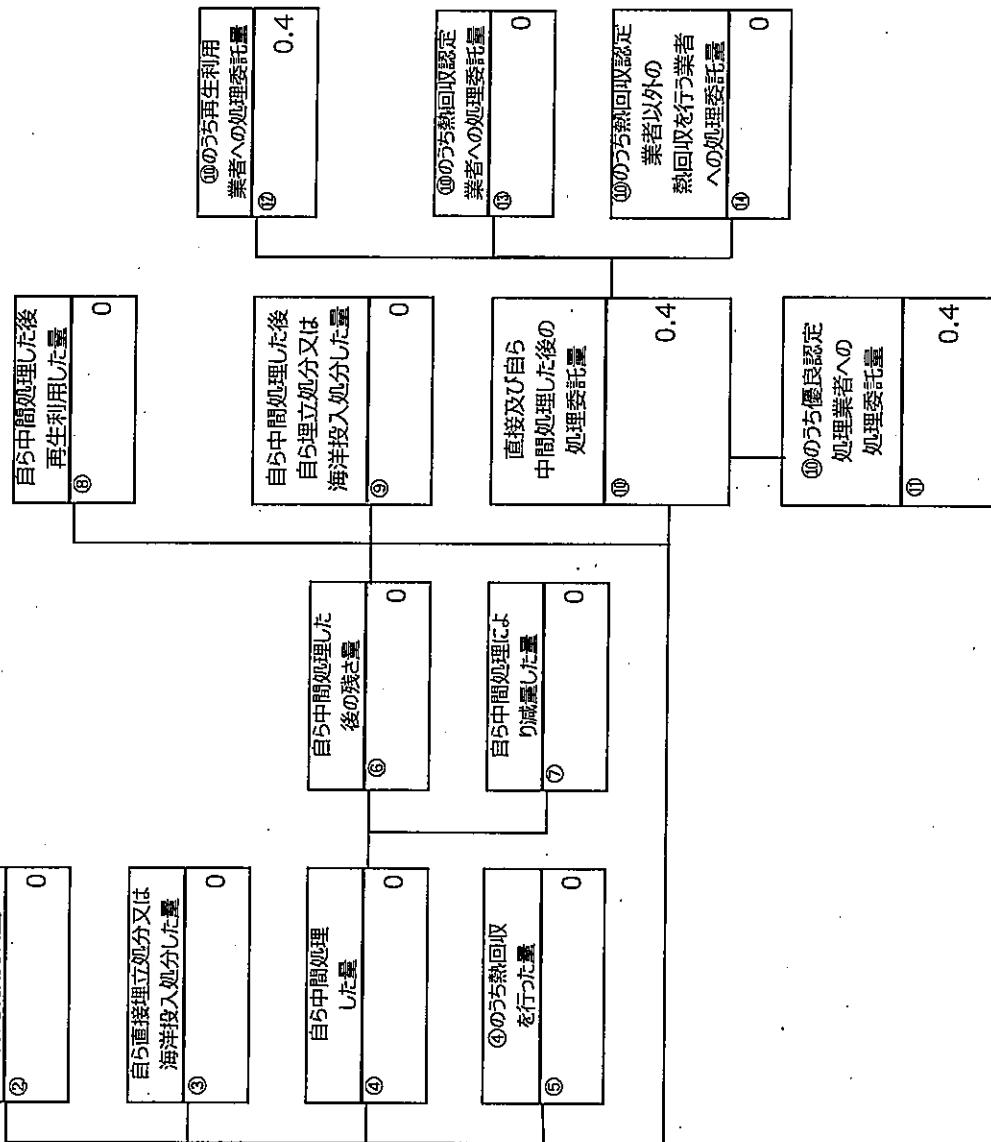
(産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)

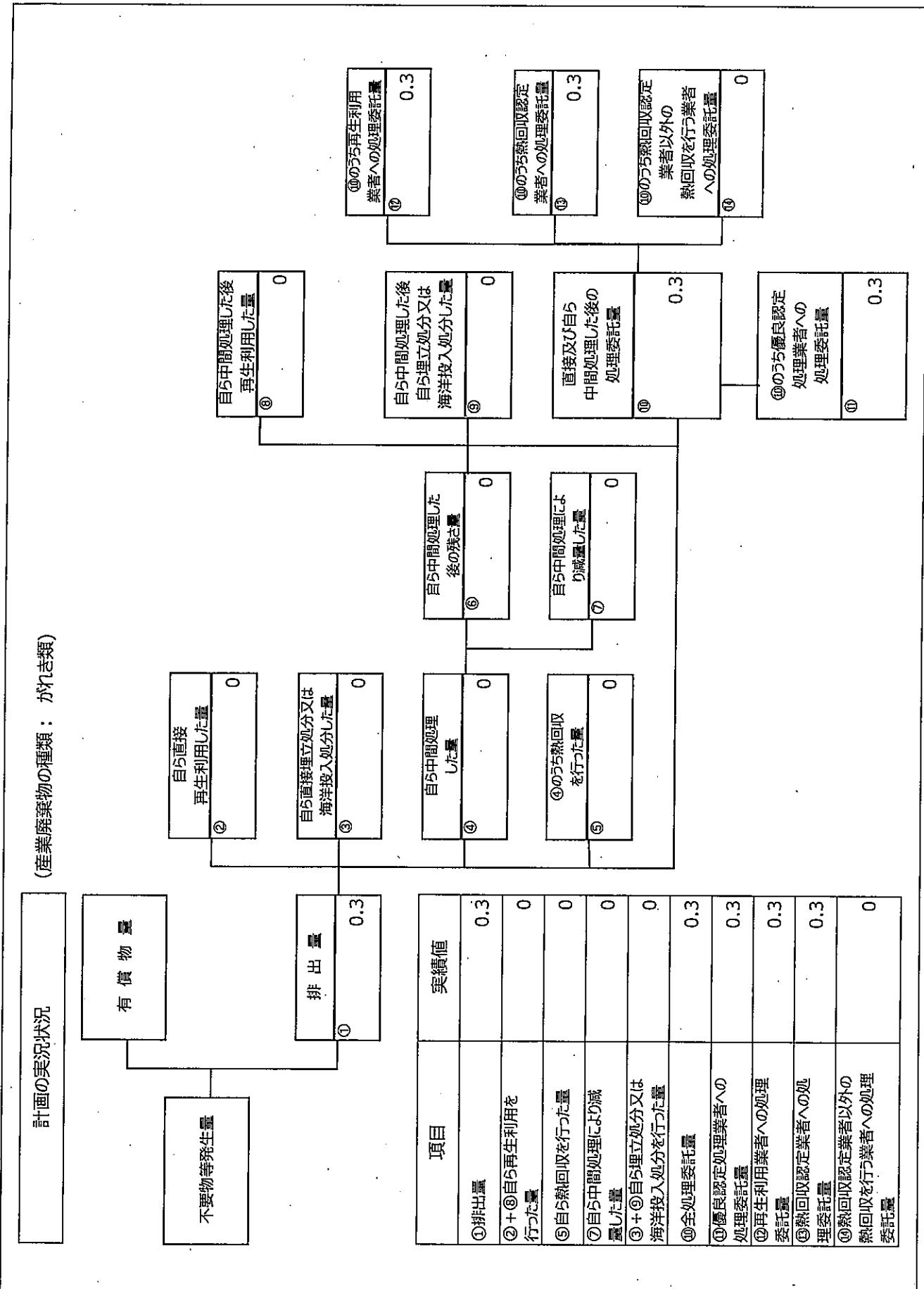
有 債 物 量	
排 出 量	
項目	実績値
①排出量	0.4
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑨海洋投入処分を行った量	0
⑪全処理委託量	0.4
⑫優良認定業者への処理委託量	0.4
⑬再生利用業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の処理委託量	0.4
⑮熱回収をを行う業者への委託量	0



## 計画の実況状況

## (産業廃棄物の種類：金属くず)





備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。